

(平成 29 年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題：酒米の高品質・安定生産技術の開発

研 究

「祝」の収穫調査を実施

当所では農林センターとともに、酒造業界の要望を受け、京都府オリジナルの酒米品種の「祝」と「京の輝き」の生産量確保及び品質向上を目指した、栽培技術の検討を進めています。

このうち、「祝」については、安定した需要が見込まれているものの、米粒が薄くなり、くず米が発生しやすいことが問題です。そこで、粒の充実を促すための穂肥を用いた施肥方法について検討しています。

5月29日に移植した「祝」を10月4日に収穫調査を行い、現在、脱穀調製中です。今後は、施肥方法によるくず米率の改善状況を調査し、「祝」の安定生産技術を確立することで、生産者を支援していきます。



試験ほ場での坪刈りの様子

農林センター（丹後農業研究所）